

駅ホームの転落防止対策の促進

【予算額】9,934千円

担当 交通政策課 鉄道担当
内線 2236

目的

駅ホームからの転落事故の防止を図るため、ホームドアの整備を促進する。また、ホームドアが未整備の駅について、内方線付き点状ブロックの整備を促進するとともに、駅での声かけ・サポートの活動を支援し、駅ホームの安全対策を促進する。

事業概要

寄附募集事業

1 ホームドア設置促進事業 8,862千円

(1) ホームドア設置促進事業 8,862千円

ホームドア整備費用の一部を負担する市町村に対して補助する。

補助率：市町村負担額の1/2

(バリアフリー料金制度充当分を除いた鉄道事業者負担分の1/4)

対象駅：東武伊勢崎線 草加駅、蒲生駅、越谷駅



2 点状ブロック整備促進事業 1,072千円

(1) 点状ブロック整備促進事業 1,072千円

内方線付き点状ブロックの整備費用の一部を負担する市町村に対して補助する。

- ・バリアフリー料金制度を活用する駅の場合

補助率：市町村負担額の1/2

(バリアフリー料金制度充当分を除いた鉄道事業者負担分の1/4)

対象駅：東武東上線 つきのわ駅

- ・バリアフリー料金制度を活用しない駅の場合

補助率：市町村負担額の1/2 (鉄道事業者負担分の1/6)

対象駅：JR川越線 西川越駅

